

若手技術者交流事業に関する報告

中電技術コンサルタント(株) 正会員 ○佐竹 亮一

1. はじめに

若手技術者交流事業は、若手技術者の意見・情報交換により、若手技術者の交流と技術力の向上を目的としている。若手技術者同士の交流により、技術研鑽への取り組み方・他分野の理解・日常の働き方等について、相互に刺激し合い、自己研鑽が図れる行事となるように企画したものである。

本報告は、中国支部での平成 27 年度から平成 29 年度の 3 カ年の行事報告と、本部での若手技術者の活性化に関する、若手パワーアップ小委員会の取り組みについて紹介するものである。

2. 中国支部 平成 27 年度から平成 29 年度の若手技術者交流行事

若手技術者交流事業は、平成 26 年度までの土木学会 100 周年記念事業のうち、若手土木技術者の交流サロン企画での、組織を超えた議論、若手としての独自の活動、学会の活性化を目指した活動の継続事業として実施しているものである。

(1) 平成 27 年度 若手技術者交流サロン(平成 28 年 1 月 29 日)

若手技術者の研究事例に関する講演会を実施した。特定の分野に限定していないため、専門分野外の内容に関する初歩的な質問も若手技術者同士、遠慮なく活発な議論ができる雰囲気の中で実施できた。

講演①：経路探索システムのログデータを用いた交通特性分析
鳥取大学 桑野 将司 准教授

講演②：常時微動計測によるダムの振動特性評価について
中国電力株式会社 仁科 晴貴 氏

講演③：学会活動を通じた若手土木技術者の活躍フィールド開拓に向けて
東日本旅客鉄道株式会社(土木学会若手パワーアップ小委員会) 伊東 佑香 氏

若手技術者座談会

座談会(写真-1)では、参加者同士の自己紹介・土木学会とのかかわりについて意見交換を行った。若手技術者が参加したいと思う交流サロンのあり方について、多くの要望を頂いた。

(2) 平成 28 年度 若手技術者交流講演会(平成 29 年 1 月 25 日)

平成 28 年度以降は、継続教育・技術力向上の目的に合わせて、若手技術者交流講演会と題して、実施している。平成 27 年度の参加者意見を参考に、先輩技術者の経験と転機となった事柄について講演をいただいた。普段聞くことのできない貴重な講演のなかに、若手にとって何気ない日常業務も積極的な姿勢で技術力向上につなげていくことが重要であると感じた。

講演①：私の失敗談と教訓 一山コンサルタント 山下 祐一 氏

講演②：私の転機 広島大学大学院 土田 孝 教授 (中国支部支部長)

若手技術者座談会

座談会では、土木学会での活動等について意見交換を行った。参加者の感想として、同世代で意見交換等をする機会は少ないため、有意義であったとの感想が多く好評を得た。今後の活動として、集まりやすい実施時期・現地見学会実施などの提案があった。例えば、現地見学会は施工前・施工中・供用後のような、シリーズでの実施提案があり、固定メンバーで実施することでより理解・交流が深まると考えられる。



写真-1 座談会風景

キーワード 継続教育、支部行事

連絡先 〒734-8510 広島市南区出汐二丁目 3 番 30 号 中電技術コンサルタント(株) TEL082-256-3496

(3) 平成 29 年度 若手技術者交流講演会(平成 29 年 11 月 21 日)

平成 29 年度は、中国地方以外の若手技術者の研究事例 2 例を含む講演会を実施した。同年代の研究者の技術開発への取り組みを紹介し、参加者全体で実施したグループワークは、日常からみた今後技術開発が期待される分野や技術開発に関する職場環境について検討し、グループごとに発表を行った。

講演①：コンクリート構造物の補修技術について

国立研究開発法人土木研究所 櫻庭 浩樹 氏

講演②：鋼構造物の健全度診断のための解析的検討

中電技術コンサルタント株式会社 佐竹 亮一

講演③：低周波渦電流を用いた腐食鋼部材のさび層・残存板厚同時検知手法の検討

東京工業大学 田村 洋 助教

グループワーク（土木技術のリノベーションを考える）



写真-2 講演風景

3. 土木学会企画委員会 若手パワーアップ小委員会の活動

若手パワーアップ小委員会は、①若手土木技術者の学会活動の活性化、②学会全体の活動の活性化のため、学会事業の諸策を検討・提案し、その具体化を図ることを目的としている。また、これらの活動により、若手技術者の地域レベルあるいは全国レベルでのネットワークの構築を図ることを目指して設置されている。

主な活動内容として、生産性向上に向けた学会の活動、若手技術者向けの行事企画・海外土木技術者との交流、一般の方への土木業界の魅力発信を行っている。活動成果として、楽しみながら防災を学ぶ「ポケドボ」カードゲームを提案している(写真-3)。また、土木学会会長との対談を土木学会誌に寄稿している^{1), 2)}。

土木学会全国大会にて、下記の研究討論会を実施し、若手技術者の交流と意見交換を図っている。

平成 27 年度 「若手土木技術者による学会活動活性化と交流促進」の展望

平成 28 年度 「Innovation—若手技術者による土木”革新”—」

平成 29 年度 「若手技術者の失敗に学ぶ」



写真-3 「ポケドボ」カードゲーム



写真-4 研究討論会

4. まとめ

若手技術者交流事業は、参加者には概ね好評であり、講演会後の交流会も盛況となっている。参加しやすい企画や継続的な実施が望まれる。例えば、座談会は、参加者各位の専門分野の違いにより話題設定が難しい点はあるが、土木技術者として各分野の技術情報を交換する場として、有用である。また、若手技術者にとって有意義で自発的な活動が、自己研鑽に繋がり、支部活動を盛り上げるものである。

今後の課題としては、参加者の確保に多少苦戦しているのが実際であり、その傾向は全国的なものである。これは、多忙な年代の若手技術者や現場からの参加など、学会行事への参加が難しいこと点が挙げられる。

若手技術者交流事業は、参加者各位と若手パワーアップ小委員会委員の協力により実施しており、多大なご支援を頂き、ここに記して関係各位に心より感謝いたします。

参考文献

- 1) 会長が語る、働く若手技術者へのメッセージ—今若手に必要なのは企画力と行動力— 土木学会誌, 2016.6
- 2) 宮ヶ瀬ダムに学ぶ今後の土木技術のあり方—若手パワーアップ小委員会が聞く会長からのメッセージ— 土木学会誌, 2017.6